

放送衛星2号-b (BS-2b) の打上げについて

昭和60年12月25日
宇宙開発事業団

1. 打上げ実施機関 宇宙開発事業団
2. 打上げ場所 宇宙開発事業団種子島宇宙センター大崎射場
3. 打上げ日時 昭和61年2月8日16時30分～17時30分
4. 打上げ手段 N-IIロケット8号機
5. 打上げ目的 放送衛星の技術の開発を進めるとともに、テレビ放送の難視聴の解消等を図るために利用機関における運用に供すること。

日 時
2月8日

経過時間	事 象
0秒	打上げ
1分25秒	固体補助ロケット9本分離
4分41秒	第1・2段分離
5分00秒	衛星フェアリング分離
11分15秒	第2段燃焼停止
23分32秒	第2段再着火
24分45秒	第2・3段分離
26分 7秒	第3段燃焼終了 (トランスファ軌道投入)
27分23秒	第3段・衛星分離
69時間40分	アポジモータ点火 (ドリフト軌道投入)
89時間25分	デスピン
91時間37分	太陽電池パネル展開
アポジモータ点火後	
約30時間	三軸姿勢確立
約1ヵ月	東経117度の暫定位置に静止 その後東経110度に静止

(参考1)

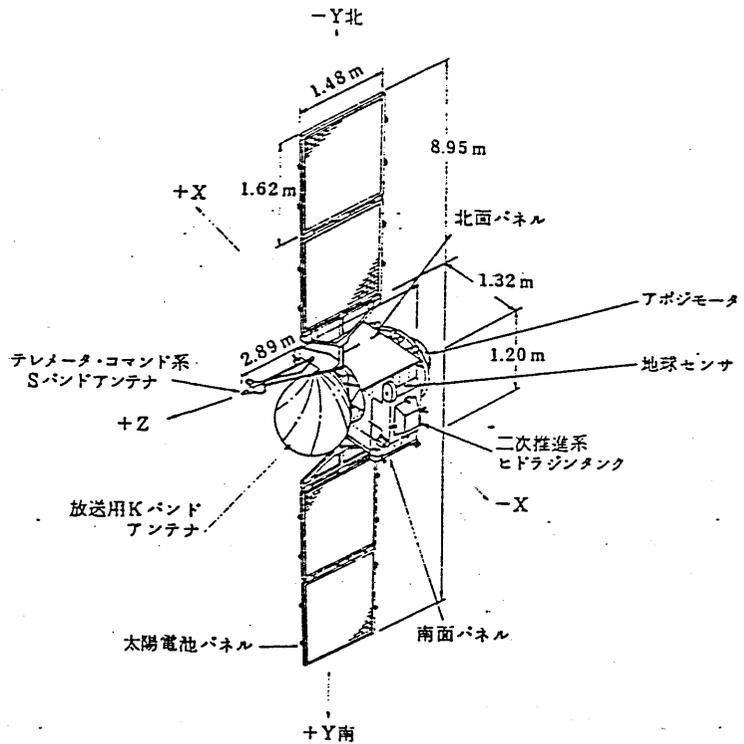
放送衛星2号-b (BS-2b) の概要

- | | |
|------------|--|
| 1) 形 状 | 展開型太陽電池パドルを有する箱型 |
| 2) 重 量 | 打上げ時 約692kg
静止衛星軌道初期 約350kg |
| 3) 軌 道 | 静止衛星軌道 東経約110度 |
| 4) 寿 命 | 4年以上5年目標 |
| 5) ミッション機器 | 放送用Kバンドアンテナ
放送用中継器 受信機1系統及び予備1系統
送信機2系統及び予備1系統 |

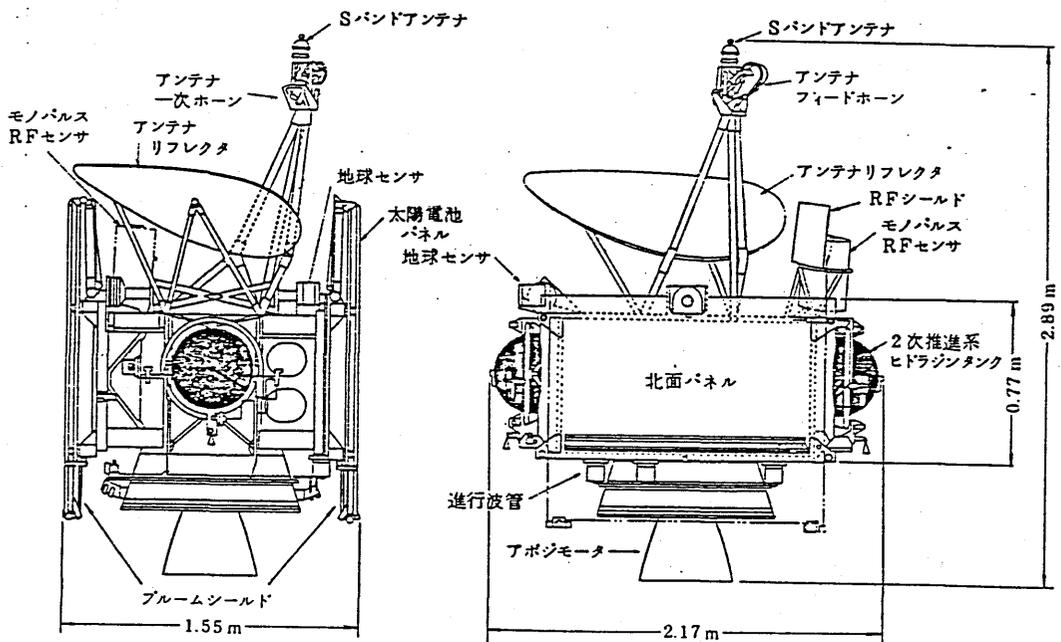
(参考2)

放送衛星2号-b (BS-2b) の形状

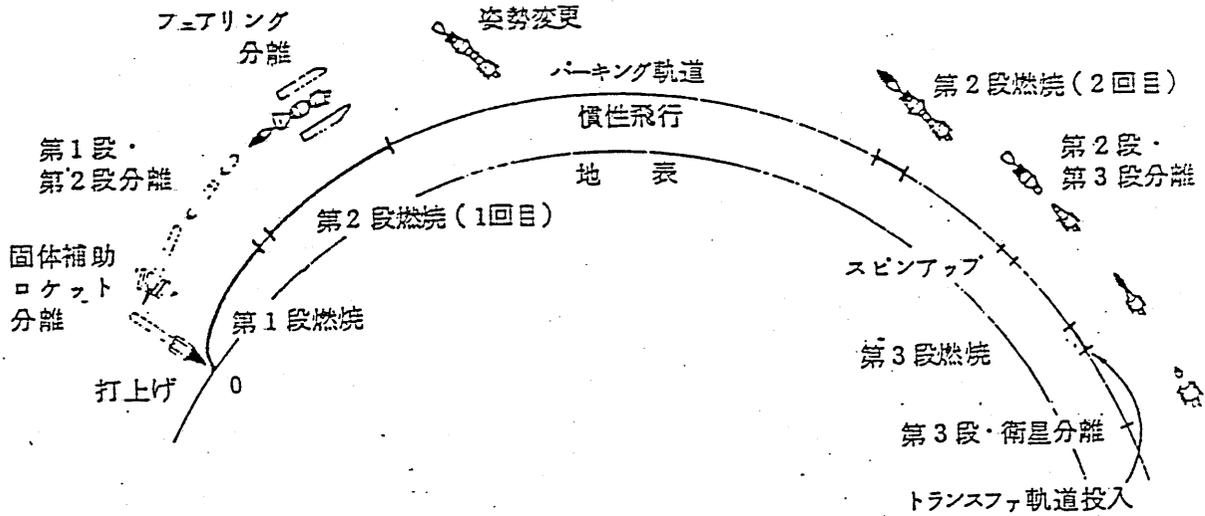
(1) 放送衛星2号-b (BS-2b) の形状



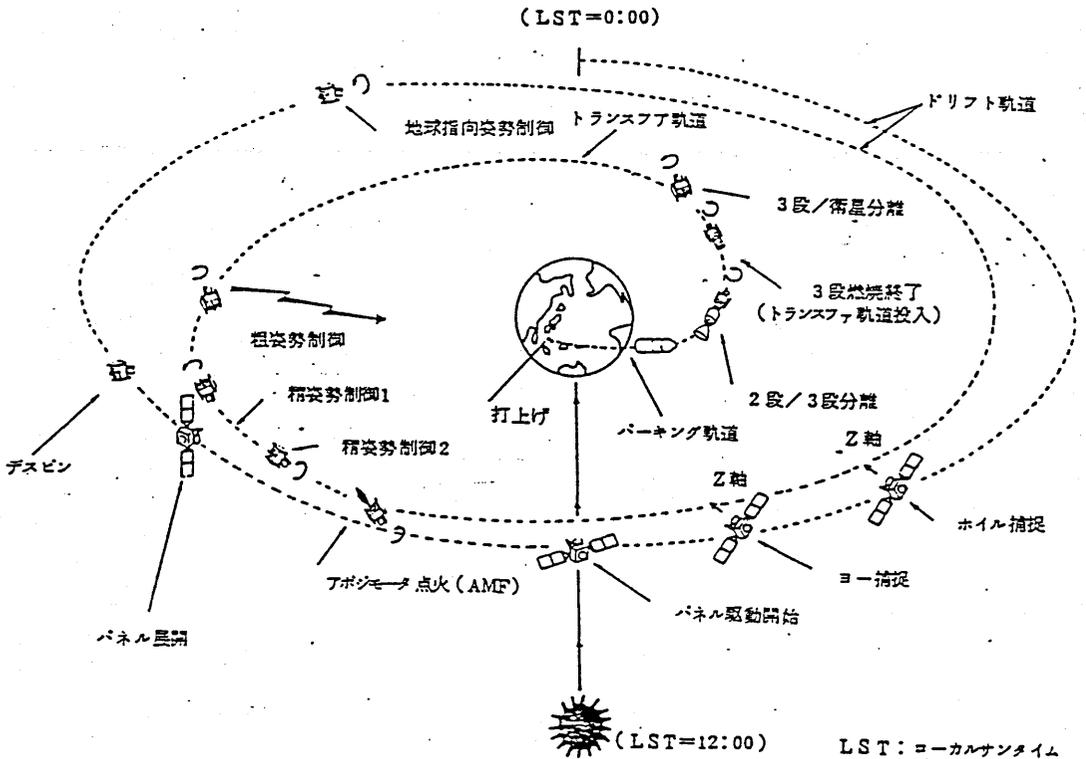
(2) 放送衛星2号-b (BS-2b) の概観



1) 打上げから第3段・衛星分離まで



2) 静止軌道投入まで



衛星は、トランスファ軌道
第7アポジで、アポジ
モータに点火する。